



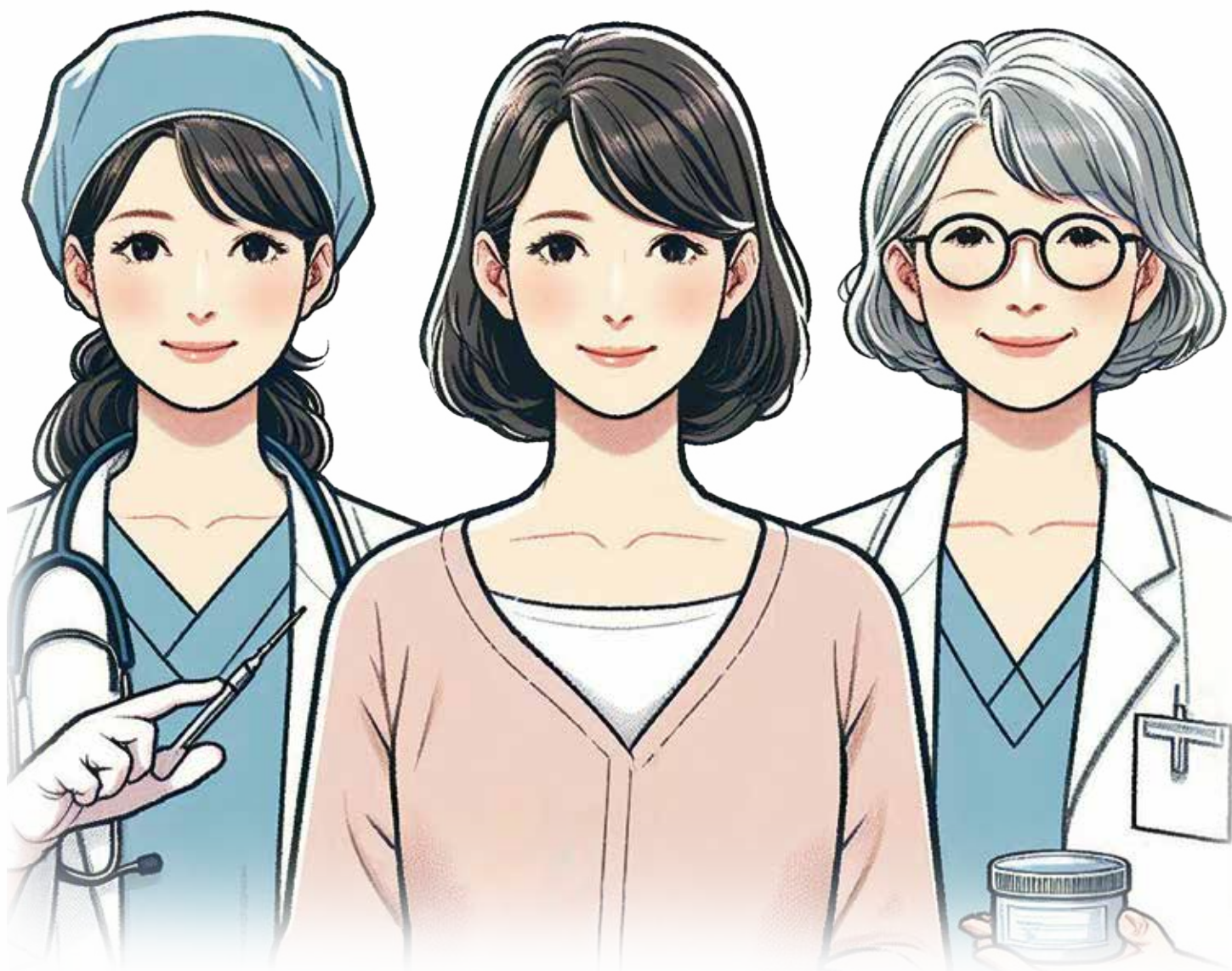
# 形成外科・皮膚科・褥瘡対策チーム

Plastic Surgery

Dermatology

Bedsore Countermeasure Team

みなさまの生活の質の向上に貢献します



# 形成外科



当院は、山口県西部地域において唯一形成外科を標榜している病院です。2022年より常勤医(形成外科専門医1名、専攻医1名)2名の体制となり、月曜日、水曜日、金曜日は終日手術を行い、火曜日、木曜日は外来診察を実施しています。

月に1回(第3月曜日)は、福岡大学形成外科名誉教授である大慈弥裕之先生とともに手術を行っています。

## 形成外科ってどんな診療科？

形成外科はからだの形を治す外科であり、傷をきれいに治したり、癌などで失われた機能を修復して形を作る科です。

あらゆる技術を駆使し、機能のみならず見た目においてもより美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献します。

### 外 傷

けが、熱傷(やけど)、顔面骨の骨折の治療を行います。



## 当院 形成外科で 扱う疾患

### 皮膚・皮下腫瘍

母斑(あざ・ほくろ)、粉瘤、脂肪腫などの皮膚や皮下のきものの切除を行います。



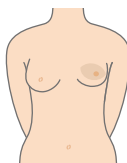
### 皮膚悪性腫瘍

皮膚がん(基底細胞癌、有棘細胞癌など)の切除を行います。



### 悪性腫瘍切除後の再建

乳癌や皮膚がんの切除手術で失った組織をつくりなおします。



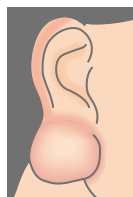
### 先天異常

うまれつき、からだの表面に異常(奇形)を認める場合に、きれいにかたちをととのえます。



### 瘢痕・ケロイド

目立つ傷あとや、傷あとのひきつれ、傷あとの盛り上がりに対して治療します。



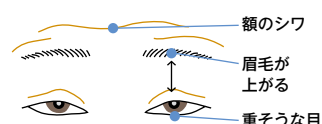
### 難治性潰瘍

寝たきりの患者さんのお尻などに出来る床ずれや、皮膚の感染症などの治療を行います。



### 眼瞼下垂症

上まぶたが下がってくる病気に對する手術を行います。



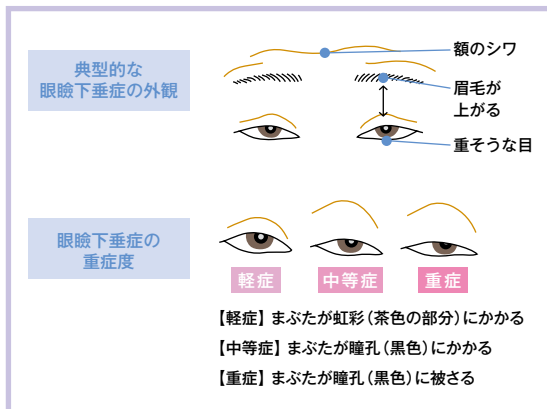


## がん けん か すい しょう 眼瞼下垂症

当院で特に多い疾患のひとつが眼瞼下垂症です。

眼瞼とはまぶたのことであり、眼瞼下垂症とは上まぶたが下がってくる病気です。

上まぶたの下がり具合によって、【軽症】【中等症】【重症】に大別され、様々な症状を来します。

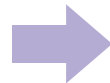


### 症 状

- 瞼が重い
- 見えにくい
- 頭痛、肩こり
- 眉毛の位置が高くなった

### 原 因

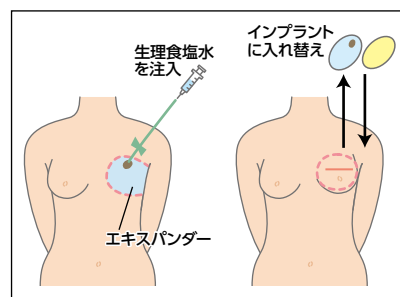
- 先天性 生まれつき
- 後天性  
加齢、ハードコンタクトレンズの長期使用  
白内障などの開瞼器使用手術の術後



筋肉の動きが伝わらなくなる腱膜性の眼瞼下垂症の場合は、伸びきってしまった挙筋腱膜を本来の位置に縫い直す手術、皮膚のたるみの場合は余剰皮膚を切除してまぶたのたるみをすっきりさせる手術があります。

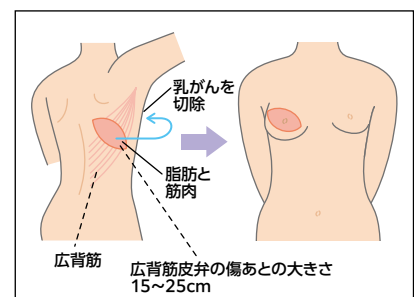
## にゅう ぼう さい けん 乳房再建

乳癌で乳房を全切除した後に、乳房をつくりなおす手術も行っています。当院では乳癌切除手術の際にティッシュエキスパンダーという皮膚を伸ばす組織拡張器を挿入し、のちに乳房インプラントの入れ替えによる再建や、広背筋による乳房形態をつくる再建手術を行っています。



### 乳房インプラントによる再建

シリコンインプラント(以下インプラント)を使う「乳房再建手術」では、最初にティッシュ・エキスパンダー(以下エキスパンダー)を使って皮膚や筋肉を伸ばしてエキスパンダーを入れ、あとからインプラントに入れ替えて再建します。

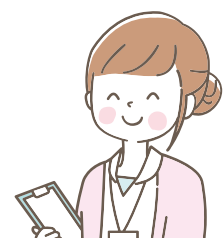


### 広背筋皮弁による再建

背中の筋肉(広背筋)、皮膚、脂肪に血管をつけた状態の組織を胸に移植して乳房をつくる方法です。背中にはそれほど多くの筋肉や脂肪がないので、乳房のボリュームの少ない方に向いた方法です。

## メッセージ

からだの表面をみたり触ったりして「おかしいな…」と感じることがあれば、それは形成外科で治療が可能な疾患かもしれません。気になることがあればお気軽にご相談ください。





# 皮膚科

2023年より常勤医(機構認定皮膚科専門医)1名の体制となり、月曜日～金曜日の午前に毎日外来診察を実施しております。週1回、火曜日は山口大学医学部皮膚科学講座下村裕教授と2診体制で診療を行っております。局所麻酔下の外来手術(主に月・水・木 午後)、入院治療も行なっています。

## 対象となる主な疾患

- 湿疹、乾燥肌、痒み、じんましん、ニキビ、多汗症、アトピー性皮膚炎、乾癬 など
- 皮膚の細菌感染症(とびひ、蜂窩織炎 など) 皮膚のウイルス感染症(ヘルペス、带状疱疹 など)、水虫
- 怪我による傷、やけど、皮膚潰瘍、巻き爪 などの処置
- 皮膚腫瘍(良性、悪性)



皮膚疾患は特に視診・触診が重要ですが、見た目や経過の情報だけでは診断が難しい症例も少なくありません。より適切な診断のために病理組織検査(局所麻酔を用いて皮膚の一部を採取し詳しくみる検査)を実施することもあります。

また、皮膚疾患の中には全身の病気と関連しているものもあるので、必要に応じて血液検査やCT検査などを実施することもあります。

皮膚病変を正しく診断し、最適な治療法を選択できるよう努めています。



いつからですか?  
痒い? 痛い? どの部位?  
飲んでいるお薬は?

ぶつぶつ? ボコボコ?  
ガサガサ? ヒリヒリ?

### 検 査

- ・ダーモスコピー
- ・皮膚病理検査
- ・血液検査
- ・エコー検査
- ・CT 検査
- ・MRI 検査

### 治 療

- ・塗り薬
- ・飲み薬
- ・注射薬
- ・液体窒素
- ・傷の処置
- ・手術

現在一部の皮膚疾患に対し、あたらしい治療薬として「生物学的製剤」という注射薬が使用されています。生物学的製剤とは、皮膚疾患の原因となるサイトカイン(炎症を引き起こす物質)をピンポイントで抑える、新しいタイプの治療薬であり、従来の飲み薬・塗り薬で一定期間治療を続けても十分な効果が得られない場合に使用を検討します。

当院は、乾癬に対する「生物学的製剤使用承認施設」として日本皮膚科学会から承認された施設です。また、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、結節性痒疹などに適応のある生物学的製剤も使用可能です。コントロールが難しかった難治性の皮膚疾患の患者さんにも改善が期待できます。

# 塗り薬の基礎知識！

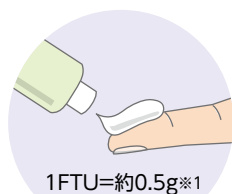


## ●皮膚に塗る薬には多数の剤形があり、皮膚の状態や場所によって選択します

| 剤形     | 長所                                      | 短所                                       |
|--------|-----------------------------------------|------------------------------------------|
| 軟膏     | ほとんどの病変に使用できる。<br>皮膚の保護・保湿効果が高く、刺激が少ない。 | 伸びが悪い。ベタつきがある。                           |
| クリーム剤  | 軟膏よりも伸びがよく、ベタつきが少ない。<br>主剤の皮膚への浸透がいい。   | 刺激があり、びらんや潰瘍、<br>グジュグジュした場所などには<br>適さない。 |
| ローション剤 | 伸びがよく、頭部など毛がある部位にも塗りやすい。                |                                          |
| テープ    | 薬剤の浸透性がよく、病変部位を保護できる。                   | 毛包炎や感染症のリスク                              |

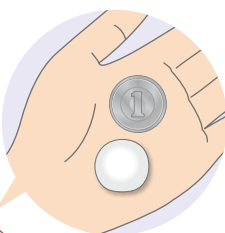
## ●塗り薬の量は「フィンガーチップユニット(FTU)」を参考にしてみましょう

### 軟膏・クリームの場合



※1 口径の小さい5gチューブでは0.2g程度、10gチューブでは0.3g程度

### ローションの場合



チューブに入った塗り薬の場合、大人の人差し指の先から第一関節までチューブから出した量を「1FTU」と表します。ローションは1円玉大に相当します。

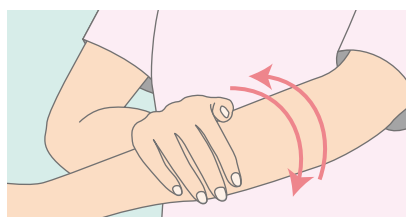
1FTUを「手のひら2枚分」の広さに塗るのが適量。※2

※2 保湿剤は1FTUより多めに塗ってください

## ●皮膚のライン(皮溝)に沿って、やさしく塗りましょう



皮溝の走行方向 →



やさしく「すり込まないように」塗ってください

湿疹のある部分は吸収がよいので、すり込む必要はありません。また、湿疹がある部分はデコボコしているため、軟膏を薄く伸ばしたり、すり込んでしまうと、出っぱっている部分に薬がつかず、よくなりません。



たっぷりと乗せるように塗ると、湿疹部分に薬がつく

湿疹が良くなれば、薬の量も少なくなります



すり込んだり、薄く塗ると湿疹部分に薬はつかない

# 褥瘡対策チーム



## 多職種で最善の方法を考えて患者さんの皮膚を守る

### 褥瘡対策チームの役割

当院の褥瘡対策チームは、形成外科医師、皮膚科医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、褥瘡専任看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師で構成されています。多職種の専門的な視点から、患者さん一人ひとりの個性を考えた最善の方法を検討して、褥瘡の予防や褥瘡の早期治癒を目指したケアが提供できるようにしています。

### 褥瘡対策チームの活動内容

●褥瘡回診：毎週火曜日に実施しています。  
チームでベッドサイドを訪問し、担当看護師を含めて話し合います。褥瘡の評価、処置、体圧分散マットやポジショニングクッションの選択、体位変換、保湿など、患者さんの個性に合う具体的なケアの提案をしています。また今年から各部署の専任看護師が当番制で回診に同行して、実際のケア、処置方法、体圧分散マットの選択や設定、外用薬の選択についても学びを深めています。



褥瘡回診の様子



褥瘡の処置の様子

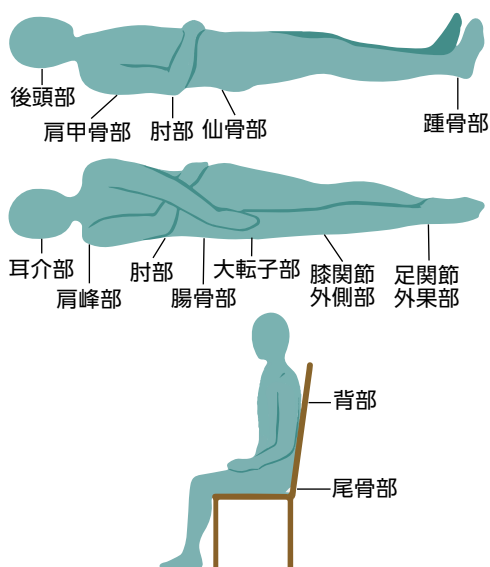
●定例会議：第2火曜日に褥瘡対策チームの会議、第3金曜日に褥瘡委員会を実施しています。  
昨年末より褥瘡委員会では、皮膚・排泄ケア認定看護師が事例検討を実施しています。各部署の褥瘡専任看護師達が自部署での褥瘡発生を予防し、褥瘡の早期治癒に向けて活動できるようにロールモデルの育成を目指しています。また、各部署で困った事例について皆で気軽に相談し合える時間にもなっています。



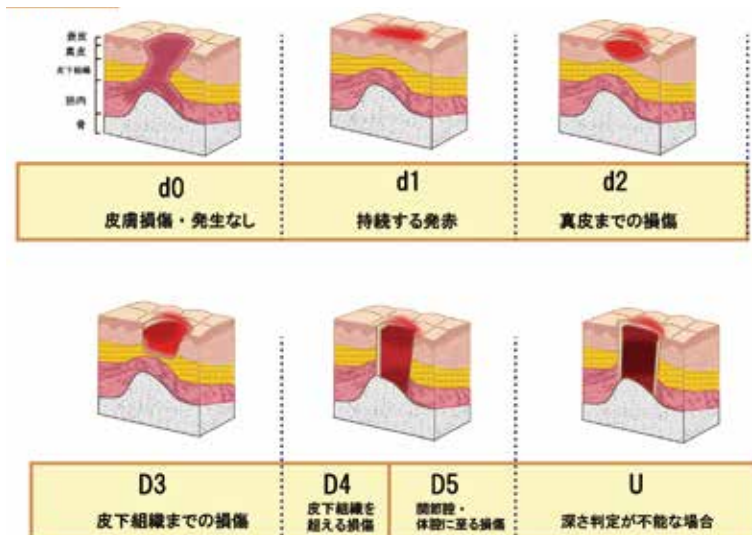
褥瘡委員会の事例検討の様子

【褥瘡とは】自分の体重で同じ場所を圧迫することで血流が悪くなった皮膚と骨の間の組織に損傷が発生した状態のことです。皮膚の一部が赤くなったり、ただれたり、深い傷になったりします。一般的に「床ずれ」ともいわれます。

#### 〈褥瘡のできやすい部位〉



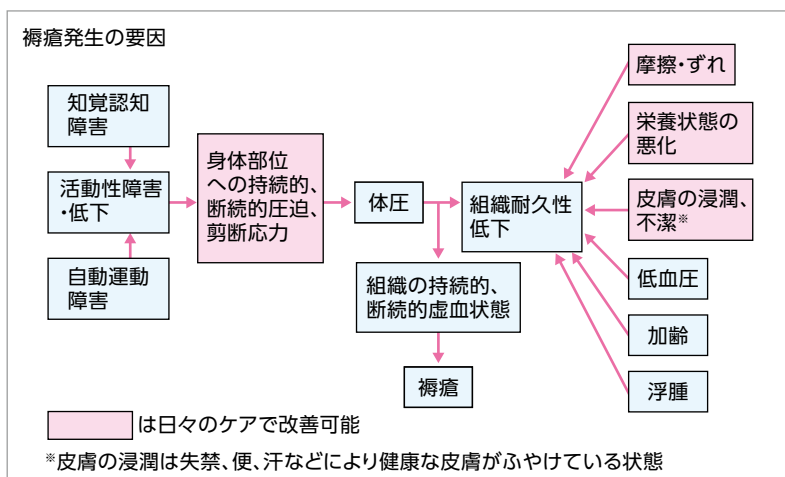
#### 〈褥瘡の深さの判定 DESIGN-R®2020より〉





## 褥瘡になりやすい人とは

人は無意識に同じ部位に圧迫がかからないように、眠っている間寝返りをし、椅子に座っているときはお尻を浮かせています。しかし、寝たきりなどで自分で身体が動かせないと、同じ部位に長時間の圧迫がかかります。栄養状態が悪い、痩せて骨が出ている、皮膚の乾燥・ふやけ・むくみは、褥瘡ができやすくなります。圧迫に加え、ベッドから身体がずれ下がるなどの摩擦やずれが繰り返されている場合も褥瘡ができやすくなります。



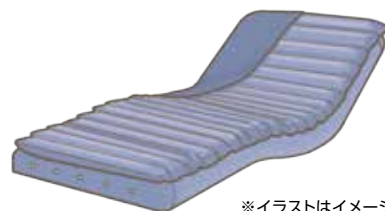
## 新しくエアマットレスを導入しました

### ロボティクスエアーマットレス

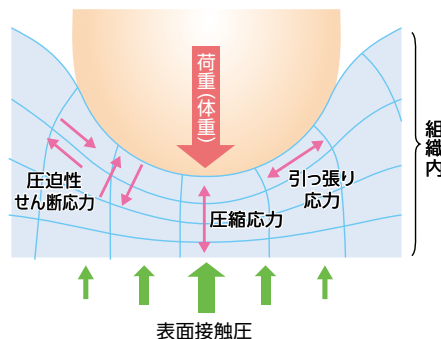
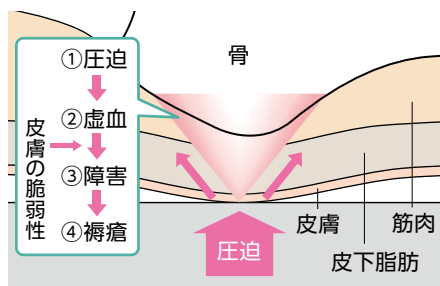
## SCOPEライト(スコープライト)

従来のエアマットレスでは細かな設定を行わなければならない、適切な圧に調整するのが難しい時もありました。そこで昨年、皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となり、全自動運転のエアマットレスを導入しました。例えば、30分以上身体の動きがないときやベッドの頭側を起こしたときなど、褥瘡ができそうな状況の時に、効果的に圧を自動調整します。このような圧調整は褥瘡を予防するだけでなく、より快適に過ごすために重要です。

今後も多職種と協力し、褥瘡の予防とケアを通して患者さんが安心して入院生活を過ごせるように貢献していきます。



※イラストはイメージです。



## 皮膚科と形成外科の連携

皮膚科と形成外科は共通する疾患を扱うことも多く、それぞれの専門性を活かし連携しながら治療を行っています。

### 皮膚科

小さな皮膚腫瘍の手術やケガ・ただれ等の治療も行いますが、塗り薬、液体窒素等を用いた負担の少ない治療を中心にしています。手術が難しい皮膚腫瘍に対しては、抗がん剤を使った治療を検討することもあります。皮膚の健康をサポートします。

### 形成外科

ケガや病気で損なわれた体の部分を元通りにしたり、機能を回復させたりすることを行っています。皮膚だけでなく、骨や筋肉を含む深い部分の治療も行い、患者さんの生活の質を向上させることを大切にしています。

皮膚科と形成外科は、それぞれが得意とする領域を持ちながら、患者さんの健康をサポートするために連携しています。どちらの科を受診すべきか迷った際は、まずはかかりつけ医や当院受付に相談してください。皆さんの健康を支えるために、これからも連携を強化していきます。

**がん患者さん・ご家族のための  
ふくふくサロン**  
FUKU FUKU SALON

がん患者さんや家族の方が「語りの場」として「ふくふくサロン」を開催しています。

開催日 令和7年4月9日水・5月14日水・6月11日水  
時間 13:00受付～15:00 場所 2階会議室  
費用 無料(駐車料金含む) 対象 がん患者、その他ご家族(通院、入院、他院問わず)  
お問合せ 治療と仕事の両立支援の相談窓口 がん相談支援センター(直通) ☎083-262-2332

**治療と仕事の両立支援の相談窓口**

日時 毎月第3金曜日 10:00～13:00 場所 1階ロビー  
(インフォメーションでお声をかけてください)

産業保健総合支援センター相談員が休みのとり方、会社との付き合い方、治療のスケジュールに合わせた働き方など、仕事を続ける上での工夫について、どなたでも無料で相談することができます。

**地域医療支援研修会** (令和7年4月～6月) <時間> 18:00～19:00 / <場所> 管理棟 講堂(3階)

| 開催日       | テーマ               | 講師                 |
|-----------|-------------------|--------------------|
| 4月 24日(木) | 心臓ペースメーカーの基礎と実際   | 臨床工学技士 山本 将太       |
| 5月 22日(木) | 心不全の療養指導に役立つ話     | 慢性心不全看護認定看護師 山口 健二 |
| 6月 26日(木) | 意識レベルのスケールと鎮静について | 集中ケア認定看護師 堤 由佳     |

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい)  
※参加される方はマスク着用をお願いします。

**健康講座の予定** (令和7年4月～6月) <時間> 10:00～10:30 / <場所> 会議室(2階)

| 開催日 | テーマ                                        | 講師                  |
|-----|--------------------------------------------|---------------------|
| 4月  | 2日(水) 脳卒中のリスクと治療のお話                        | 集中ケア認定看護師 堤 由佳      |
|     | 9日(水) 今日からできる認知症予防について                     | 認知症看護認定看護師 浅井 俊行    |
|     | 16日(水) NEW 排尿のしくみ                          | 皮膚・排泄ケア認定看護師 山本 真子  |
|     | 23日(水) NEW 赤ちゃんのための災害の備え                   | 新生児集中ケア認定看護師 安田 さくら |
|     | 30日(水) がん健診について予防について                      | がん化学療法看護認定看護師 生田 香織 |
| 5月  | 7日(水) NEW 認知機能低下を防ぐために ～生活のヒント～            | 認知症看護認定看護師 吉永 奈央    |
|     | 14日(水) 手術と喫煙                               | 手術看護認定看護師 丸岡 聖路     |
|     | 21日(水) 人生会議について知っていますか？                    | 緩和ケア認定看護師 柴田 敏子     |
|     | 28日(水) 早めの気づきが大切 急変時の対応～心肺蘇生、AEDの使用方法について～ | 集中ケア認定看護師 前田 友美     |
| 6月  | 4日(水) 緩和ケアを知っていますか？～がんの診断時から始まる緩和ケアについて～   | 緩和ケア認定看護師 山本 千春     |
|     | 11日(水) 脱水について                              | 腎不全看護認定看護師 高橋 美希    |
|     | 18日(水) NEW 赤ちゃんとの生活                        | 新生児集中ケア認定看護師 米村 幸子  |
|     | 25日(水) 血管をきれいにして心臓を守ろう                     | 慢性心不全看護認定看護師 山口 健二  |

**教室・相談のお知らせ** (令和7年4月～6月)

|             | 実施日                                          | 時間          | 場所      | 参加費  | お問い合わせ |
|-------------|----------------------------------------------|-------------|---------|------|--------|
| 糖尿病教室       | 4月4日(金)・18日(金)・5月2日(金)・16日(金)・6月6日(金)・20日(金) | 13:00～14:00 | 会議室(2階) | 無 料  | 栄養管理科  |
| なんでも相談窓口    | 4月・5月・6月(月)～(金)                              | 8:30～17:00  | 医療相談室   | 無 料  | 医療相談室  |
| マザークラス(予約制) | 第1・第3木曜日                                     | 13:30～15:00 | 会議室(2階) | 500円 | 4階東病棟  |

おことわり 上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。※腎臓病教室は、入院患者のみを対象とするため削除となりました。

**診療実績報告** (令和6年11月～令和7年1月)

|         | 外来患者数   | 入院患者数   | 新入院患者数 | 平均在院日数 | 救急車受入件数 | 手術件数 |
|---------|---------|---------|--------|--------|---------|------|
| 令和6年11月 | 15,274人 | 9,798人  | 942人   | 9.61日  | 342件    | 829件 |
| 令和6年12月 | 15,925人 | 11,192人 | 1,012人 | 9.90日  | 451件    | 869件 |
| 令和7年1月  | 14,908人 | 11,334人 | 966人   | 11.27日 | 381件    | 741件 |

**基本理念**

「心のかよう質の高い医療」を提供します

**基本方針**

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します

よりよき医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します

職員の協働活動のため、よりよき環境づくりを目指します

**患者さんの権利と義務**

- 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
- 病気・検査・治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。  
また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
- 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。  
また、他医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
- 所定の手続きをおとりにることにより、ご自分の診療録の開示をお求めにすることができます。
- 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する義務があります。
- すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
- 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
- 医療費を支払う責務があります。